

平成28年度、静岡市社会福祉協議会では「複雑・困難化する地域課題と社会福祉協議会の役割～市民の期待に応えるための運営の充実について～」という基本方針を掲げ、事業運営に取り組みました。

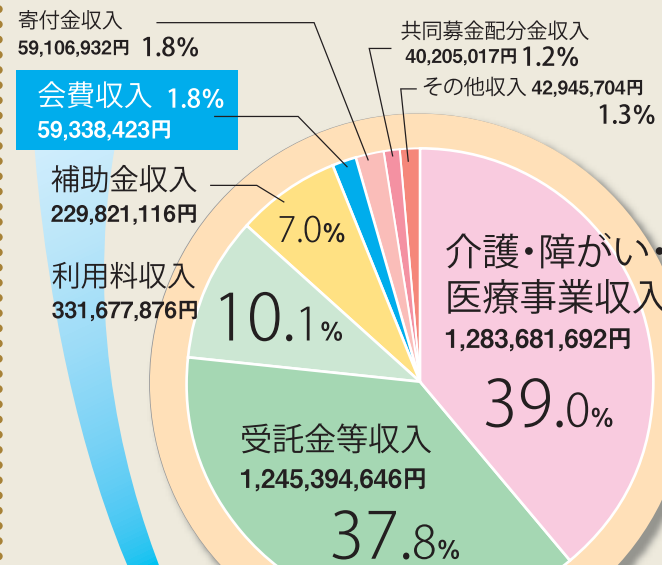


平成28年度

決算報告 (事業活動のみ)

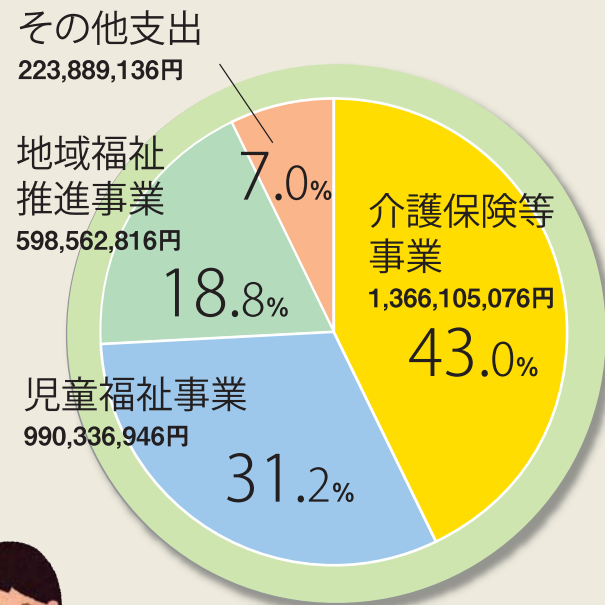
《収入内訳》

合計 3,292,171,406円



《支出内訳》

合計 3,178,893,974円



会費収支報告

平成28年度



本会会費の内訳については下記のとおりです。
たくさんのご支援を賜り、誠にありがとうございました。

●収入

一般会員	51,638,663円
賛助会員	4,594,300円
特別会員	2,279,568円
施設・団体会員	825,892円
合計	59,338,423円

●支出

地区社協の育成・支援	45,291,000円
福祉団体への助成金・地域福祉推進事業費	10,697,423円
子育てサロン(子育てトークの会)会場への活動助成金	3,350,000円
合計	59,338,423円

事業の内容

平成28年度も地域福祉のためのさまざまな活動や事業を実施しました。こちらでは、2ページの支出内訳の項目に関連した事業の一部をご紹介します。

地域福祉推進事業



「たすけあいの会」の活動の様子

★地域福祉コーディネーターによる 支え合い活動の支援

地域福祉コーディネーター(地区担当職員)が、見守りや居場所(サロン)の運営など地域での支え合い活動を推進できるよう、地区(学区)ごとに組織された地区社協を支援しました。さらに平成28年12月より静岡市の事業を受託し、市内8つの日常生活圏域に先行して生活支援コーディネーターを配置しました。

★高齢者の社会参加・ボランティア参加の促進

65歳以上高齢者への介護予防と社会参加の促進を目的とした「静岡市元いきいき!シニアサポーター事業」の活動対象が、従来の介護施設に「S型デイサービス」「在宅高齢者を支援する活動」が加わり、より身近な地域で活動が行えるよう事業の拡充に努めました。



「ほっとサロン笑輪」の活動の様子

★関係機関・地域とのつながりの強化

認知症や知的障がい、精神障がい等により判断能力が充分でなく、日常生活を送るうえで支障がある方に対し、福祉サービスの利用に関する相談・助言・情報提供やサービスの選択・契約の支援を行いました。より多くの方に日常生活自立支援事業を知っていただくため、地域で開催される研修会などに職員を派遣し、事業の周知に努めました。



介護保険等事業

★サービスの質の向上と 事業所体制の強化

住み慣れた地域で安心して自分らしい生活を送っていただけるよう、地域包括ケアシステムの中での事業を展開しました。また、多様なサービスを提供できる職員の育成を目的に研修などを実施しました。



多職種間でのケース検討会を実施

児童福祉事業



静岡市中央子育て支援センターの様子

★子育て環境の変化に対応した 子ども子育て支援の展開

静岡市より受託した児童館・児童クラブなどを拠点として、地域福祉を推進する本会の強みを一層活かした児童福祉事業を展開するとともに、関係機関とのネットワークづくりを進めました。

「生活の立て直し」を お手伝い



静岡市暮らし・しごと相談支援センターでは、「暮らし」や「しごと」でお困りの方、不安のある方のご相談をお受けし、「生活の立て直し」をお手伝いしています。
相談支援員は、お話を伺いながら悩みや困りごとの解決の糸口をいっしょに考えていきます。まずは、お住まいの区の相談専用ダイヤルへお気軽にご連絡ください。

たとえばこんなご相談…

このままだと
家賃が払えない…

なかなか
就職できない…

どこに相談すれば
よいかわからない…

●実際にこのような相談がありました

「息子の就職活動がうまくいっていない」と父親から相談を受けました。ご本人は就職活動をしていましたが、何社も落ちてしまい自信を無くしている状況でした。

20代男性



相談の結果

一般就労に向けた訓練や就労体験などを行いながら、ご本人と得意なこと、苦手なことの確認ができました。6ヶ月の利用でご本人に合った会社に就くことができ、正社員を見越した契約社員での採用となりました。

〈住居別新規相談件数〉



新規相談件数1343件の内
経済的困窮状態 749件

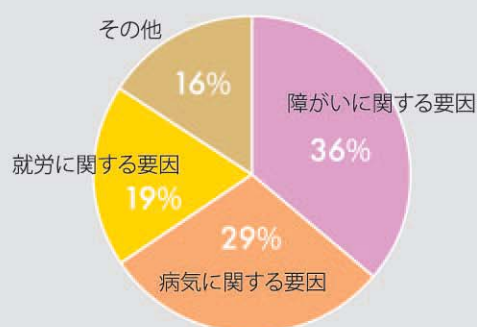
〈男女比割合〉



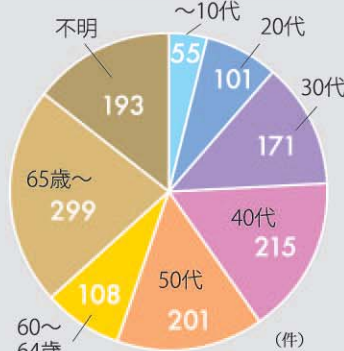
平成28年度

静岡市暮らし・しごと相談支援センター相談実績

〈経済的困窮に起因する潜在リスク〉



〈年代別新規相談件数〉



相談専用ダイヤル

葵区 TEL.054-249-3210

葵区城東町24-1 城東保健福祉エリア 地域福祉交流プラザ内

駿河区 TEL.054-286-9550

駿河区南八幡町25-21 静岡市南部生涯学習センター内

清水区 TEL.054-371-0305

清水区宮代町1-1 はーとぴあ清水内

※個人情報については、本会規程に則り、細心の注意を払った上で取扱います。

ご本人はもちろん、ご家族などからの相談もお受けします。



当センター相談支援員のほか、さまざまな専門職や団体のご協力により

各種専門相談を開設しています

ふれあい福祉相談

相談名称	相談内容	実施日
認知症よろず相談	介護経験者による介護の悩みや不安等に関する相談	毎週月曜日
労働に関する相談	社会保険労務士による労働環境や労働問題に関する相談	第1・3火曜日
知的障害児者相談	ご本人、家族の悩み、心配事等の相談、福祉支援サービス等の紹介	第1・3水曜日
法律相談	弁護士による日常生活上の困りごとの相談	第2・4水曜日
家計に関する相談	行政書士による家計の収支バランスの見直しなどの相談	第1・3木曜日
こころはればれ相談	精神保健福祉士による生活上のこころの悩みに関する相談	第2・4金曜日

時間／13:00～15:00（認知症よろず相談・知的障害児者相談は10:00～15:00）
お電話でもご相談いただけます。TEL.054-367-5130（法律相談を除く）

申込／予約不要 ※法律相談は要予約（事務局TEL.054-371-0305）

場所／清水社会福祉会館 はーとぴあ清水 2階（清水区宮代町1-1）

費用／無料



●知的障害児者相談は、城東保健福祉エリア（葵区城東町）でも実施しています。
毎週月曜日9:30～12:00 TEL.054-254-5218（静岡市静岡手をつなぐ育成会）

「こころはればれ相談」

相談員（精神保健福祉士）からのメッセージ

家族や友人には相談しにくいことや、専門家に聞いてほしいことなど、こころの病気に関する様々なことについて相談を受けています。また、身近な方がこころの病気で苦しんでいるけれど、「なんて声をかけて良いかわからない」といったご相談もあります。一緒に悩みを整理し考えていきましょう。また、その方に応じた福祉サービスなどの情報も提供しています。お電話でも大丈夫ですので、お気軽にご相談ください。



医療福祉なんでも相談会

医師、弁護士、社会福祉士などの専門職が、医療をはじめとする生活上の不安、子どもの発育など、さまざまな困りごとのご相談に乗ります。また、相談内容について秘密は厳守致します。（相談無料、予約不要）



◆日程

第2回 9月9日（土）

第3回 11月11日（土）

第4回 2月24日（土）

※第1回は終了しました。

◆時間

14:00～16:00（最終受付15:30）

◆会場

清水保健福祉センター4階 清水医師会会議室
（静岡市清水区渋川2-12-1）

アクティブ シニア

～できるときに できる人が できることを～

高齢化・少子化が進む日本において、地域を支える担い手としてアクティブシニアが注目されています。
地域への貢献活動を生きがいに、第2の人生を送っている方にお話を伺いました。
活動のきっかけは「自分にも何かできないか？」という気持ちから始まっています。
みなさんも、まずは最初の一步を踏み出してみませんか？

秘訣は「できること」を 「できるとき」にやること

「ファミリー・サポート・センター」と
「シルバー人材センター」などで
活動中の 森 恵美子さん



定年まで仕事を続けましたが、仕事中心の生活だったことに気づき、これからは何か地域に貢献できないかと考え、いろいろな講座を受ける事になりました。その中で自分でもできると思った活動に登録し、静岡市シルバー人材センターの家事援助やファミリー・サポート・センターの子育て援助活動などを行っています。



今では、どこでも子どもの姿が目に入り気になるようになったり、これまで関わった子ども達のおかげで、その対応に自信ができました。

シニア世代ですが、ちょっとした負荷をかけることで、生活に張りが出ると感じています。

【問合せ先】
静岡市ファミリー・サポート・センター静岡 TEL.054-254-2283
静岡市シルバー人材センター TEL.054-351-1150

仲間との交流も深まり 有意義な毎日を送っています

シニアサポーターで活動中の 兼高 悦造さん



知り合いに誘われたことがきっかけで、介護者を支援する「静岡介護者きずなの会」のボランティアに参加しています。昨年からの活動がシニアサポーター事業の対象となり、現在はサポーターとしても活動しています。

人前で話す事が苦手でしたが、仲間が協力してくれて、少しずつ話せるようになってきました。ボランティア活動を続けたいという思いが健康管理にも繋がっています。色々な行事の中で仲間との交流も深まり、とても有意義な毎日を送っています。何よりも、家族が理解し、喜んでくれるのが嬉しいです。



【問合せ先】
ボランティア・市民活動センター静岡 TEL.054-254-6330

※「元氣いきいき！シニアサポーター事業」とは、地域貢献活動をするポイントがたまり、地場産品と交換できる、市内の65歳以上の高齢者を対象とした事業です。

連載

第2回 民生委員制度の成り立ち



民生委員制度 創設100年を振り返る



静岡県総合社会福祉会館（葵区駿府町）南側「いこいの広場」に設置されている笠井信一氏の胸像

こうして、住民の立場から生活に困っている人々に寄り添い支える仕組みが徐々に整えられ、戦後の民生委員制度の発展へとつながっていきます。
(次号へ続く)

当時の活動について、静岡県民生委員史（1977年発行）によれば、①人事相談（結婚・離婚・家庭不和等）、②職業あっせん、③地方改善事業、④賑恤救済、⑤感化教育、⑥隣保事業、⑦浮浪者に対する金銭、食事の恵与といった活動が当時の手帳から推測されるとしています。

民生委員制度の源流とされる「済世顧問制度」は、大正6年（1917年）、静岡県富士市出身の岡山県知事笠井信一氏が、大正天皇から庶民の暮らしを尋ねられたことをきっかけに、市民生活に即した防貧策として創設されました。
翌大正7年には、大阪府において「方面委員制度」が誕生し、委員が一定の地区（方面）を担当し、地域の社会調査をして生活に困窮する人の援護にあたるという現在の制度の原型ができました。
この方面委員制度はその後全国的な広がりをみせ、静岡県においても大正11年に発足しています。当初、県内2市7郡に設置され、32名の委員が委嘱されました。静岡市では、旧市内の安西、番町、伝馬町をはじめ、旧安倍郡豊田村、大里村など8方面に10名が配置された記録が残っています。委員は地域の篤志家が多く、名誉職とされていました。



「あなたひとりで悩まないで」 子育ての悩みを打ち明けることのできる 相談ボランティア

NPO法人 子ども虐待防止センター・しずおか



「はい、子ども虐待防止センター・しずおかです。」と電話を受ける相談員の優しい口調が印象的です。

NPO法人子ども虐待防止センター・しずおかは、子どもの虐待や子育ての不安などに関する電話相談を受ける相談ボランティアとして、平成12年10月に設立されました。

現在、相談員は29名。専門知識を習得する養成講座を修了した人が、相談員として電話を受けますが、それでも電話が鳴ると少し緊張するといいます。

「子育ての悩みは誰にでもあること。ひとりで抱え込まず、まず電話をしてほしい。」という思いで、電話相談についての紹介や児童相談所、民生委員、助産師などとの連携も図っています。地域の支援を受けながら、今日も相談者の気持ちに寄り添う活動が続けられています。

【問合せ先】
子ども虐待防止センター・しずおか
TEL.054-251-7560
平日 13:00～16:00（祝日・年末年始を除く）

備品購入の助成を受けました

関係機関との連絡、研修資料作成等の日々の業務に欠かせないパソコンとプリンターは、昨年度、宮地三千代・展江特別基金助成事業の助成金で購入し、とても役立っています。
※今年度も助成事業が実施されます。
詳しくは、8ページをご覧ください



私たちは静岡市の地域福祉活動を応援しています。

空き家対策と円満相続かけこみ寺

今、空き家。いずれ空き家。
空室で困っている古いアパート。
この先、相続どうしよう・・・
※ 空き家・中古住宅・土地買い取ります
すべては判断能力のあるうちに・・・



マイベストスロ 静岡新聞
静岡新聞社運営サイトで掲載中です！
269-5525 (株) あいしん不動産
静岡市駿河区大谷1丁目9-8 県免(2)13207
空き家問題解消推進委員会・家族信託推進委員会® 空き家かけこみ寺 検索

●遺品整理 ●生前整理
心をこめて整理いたします
ご相談・見積り無料
054-269-4531
遺品整理認定協会加盟
株式会社三ツ星ホーム
静岡市駿河区八幡2丁目15番26号
http://www.mitsubosi.jp